

## 鳥の劇場×シアター・ブレイキング・スルー・バリアーズ(TBTB)(米国) 『バックさんの魔法／美のことなり』第1回報告書 〈事業の立ち上げ〉 森田かずよ

この公演は、鳥取を拠点に活動する鳥の劇場が障がいのある人たちと共に創作活動を行うプロジェクトである「じゆう劇場」、そしてアメリカのオフロードウェイ劇団であるシアター・ブレイキング・スルー・バリアーズ(TBTB)との国際共同制作プロジェクトである。

日本では2018年6月に、自身も有識者会議の一員としても関わっていた「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が公布・施行されたことや、東京オリンピック・パラリンピックの開催も経て、障がいの有無にかかわらず、誰もが等しく芸術文化を享受する権利を有しているという考えは、広く社会に共有されつつあり、多様な身体や背景を持つ人との創作活動に注目が注がれている。

まず、「じゆう劇場」の成り立ちから見ていきたい。2014年に鳥取県で第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会開催に際し、多様な障がいのある人と鳥の劇場が演劇創作を行った。チェーホフ『三人姉妹』の上演を行い、そこから鳥の劇場がプロデュースを行うプロジェクトとして「じゆう劇場」が生まれた。全国障がい者芸術・文化祭は国の施策であるが、このようにひとつのプロジェクトが生まれ、そして継続しているのは非常に稀であり、貴重である。

じゆう劇場の目的について、今回の公演にあたって鳥の劇場の芸術監督でもあり演出家の中島諒氏にインタビューを行った。中島氏は、障がいのある人はまず、その障がいや不自由さに目が行きがちであり、その先にある人間性に気付くことが少ないと指摘する。これは文化芸術に対しても大いに言えることで、障がいのある人が表現活動を行う場合、その評価に対し「障がい」という部分だけが強調されることが多い。「障がい」があるというだけで、能力を過小評価されがちである。

じゆう劇場は障がいのある人の演じる場を創ることを目的としている。障がいのある人は福祉の枠組みの中で生存のための必要最低限の環境を与えられているかもしれないけれど、本当にその人にとって必ずしも「じゆう」な環境ではない。演劇というものを前にして、人間にとって一番大切なものである「じゆう」ということを参加者にも見る人にも感じてもらいたいと中島氏は述べる。

人間にとって対象と行動の自由さというふたつがあってはじめて、自己選択が意味あるものとなり、それは福祉とアート活動の違いのそもそもの目的の違いも反映しているとも中島氏は述べている。

### TBTBとの関わり

TBTBとじゆう劇場(鳥の劇場)は2014年から関係を育んでいる。TBTBを選んだ理由として中島氏は「その頃、演劇というジャンルで、国内で障がいのある人の活動団体をほとんど見つけることができなかったことから、ウェブで検索してTBTBを見つけた」と話す。障がいに対するアプローチは国によって違いがあり、TBTBは演劇のテーマに障がいを置き、時には笑いにする会話劇を創作。それが一般の観客にも受け入れられていた。じゆう劇場でも車椅子の俳優がシェイクスピアの登場人物を演じる公演があったが、これはTBTBの影響を受けたものであると推測する。

障がい者の枠を越えて、演じることの新しい可能性の挑戦である。

TBTBは2014年、2017年、2018年開催の鳥の演劇祭に招へいされ、公演を行っている。2014年は短編集、2017年に『アザー・プレイズ：演劇とダンスの短編劇』、2018年は『第四の壁』という作品を上演している。じゆう劇場の活動は2014年からは、年に1回鳥の演劇祭での上演をメインとしていたことから、そこに向けてTBTBを招へいし、じゆう劇場との交流が始まった。

本来は、2020年、東京オリンピック・パラリンピックに向けての共同制作を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期。2021年コロナ禍の中、Zoomを用いてシェイクスピア『真夏の夜の夢』をベースにした『CTRL L(コントロール エル)』『THE CASTING PARTY(キャスティング・パーティー)』のふたつの映像作品を制作している。



オンライン作品『CTRL L(コントロール エル)』より



オンライン作品『THE CASTING PARTY(キャスティング・パーティー)』より

### 今回の上演作品について

新たに上演する『美のことなり(A Difference of Beauty)』は、脚本を担当するTBTBのタチアナ・リヴェラ氏が、アメリカ人俳優と日本人俳優に以下のふたつの質問を行い、その上で台本を構成している。

「あなたが美しいと思うものはなんですか」

「私があなたを美しいと言ったら、あなたはどう思いますか」

加えて、「なぜそれを美しいと思うのか」「どのような部分を美しいと思うか」についても細かく尋ねた。特にふたつ目の質問に対しては、聞かれた俳優には困惑が見られたため、「自分が美しいと思うもの」に対して細

